



友ちゃんもがんばってます！関連記事4〜5ページ

i n 戸 開催!

日本モビリティ・マネジメント会議

☆☆活動報告☆☆

- 7月26日 第2回カーフリーデー実行委員会
- 8月2日 カーフリーデー作業部会
- 8月9日 第3回カーフリーデー実行委員会
- 12日 福井市地域生活交通活性化会議
- 17日 えちぜん鉄道活性化連携協議会
- 19日 ROBA例会・第89回理事会

☆☆今後の予定☆☆

- 8月20日(土) さばえ環境フェア 2011
- 23日(火) 第4回カーフリーデー実行委員会
- 9月4日(日) 福武線「泰澄の里駅」開業記念セミナー
- 福武線「清明駅」開業記念セミナー
- 6日(火) 第4回カーフリーデー実行委員会
- 13日(火) 第5回カーフリーデー実行委員会
- 16日(金) ROBA例会・第90回理事会
- 17日(土) カーフリーデーふくい2011 in 田原町

ゆうじんの部屋 書籍紹介

これから「正義」の話をしよう

マイケル・サンデル 鬼澤忍訳

早川書房 2300円+税

哲学の訳本といえば、聞くだけで読む気がなくなるものだが、この本は、哲学というか経済学書である。経済学の「効用」とは何かをつきつめると、哲学になるのである。いきなりブレーキの故障した路面電車が5人の作業員を引き殺す線路を走っていて、1人殺せば済む側線への分岐で舵を切るべきかどうかという話がでてくる。

結局都市にLRTを建設するかどうか価値観の問題になることが多いが、そこに来た時、論争のルールを心得ていることが洗練された民主主義社会であろう。そういう意味で、作業は好きだが論争は嫌いな人にも是非読んでいただきたい。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成23年度 第2回福井市地域生活交通活性化会議

日時：平成23年8月12日 9：30～10：40

場所：福井市役所 8F 会議室

委員：座長 川本義海福井大学大学院准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、市PTA連合会、ROBA、福鉄自動車部、京福バス
まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労組、福井運輸支局
県・交通まちづくり課、県警・交通規制課、福井市・交通政策室

目的：平成18年10月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入されて。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。（主にバス交通に関する協議の場）

議事：◆協議事項

(1) 地域コミュニティバスに利用状況について（H23年4月～7月）（詳細は省略）

平成23年4月運行のコミバスに関しての直近の運行実績の報告及び今後の利用促進策の報告がありました。

- ・酒生地域コミュニティバス
- ・殿下地域コミュニティバス
- ・鷹巣・棗地域コミュニティバス
- ・鶉～宮ノ下～大安寺地域コミュニティバス

なお、試行運行から本格運行への可否については来年9月までの実績で運行継続基準に照らして決定する。

(2) 鷹巣・棗地域コミュニティバス運行計画の変更について (実施予定日：10月1日)

①停留所の新設（京福バスの既設バス停を利用）

- i) 鷹巣公民館前停留所
- ii) 和布堂ノ上停留所
- iii) 和布停留所
- iv) コメリ西停留所

②ルートの延長・変更

- i) 浜住バス停を起点及び終点にしているものを鷹巣公民館前まで延長する
- ii) コメリ西停留所の新設に伴い運行経路を変更する

③運行ダイヤの変更

第3便：福井温泉病院12：00発を11：00発に繰り上げる

(3) 殿下地域コミュニティバス運行計画の変更について (実施予定日9月20日)

変更前：月曜日～木曜日、日曜日（予約があった場合のみ運行）

変更後：毎日（予約があった場合のみ運行）

- ・金曜日は通院目的、土日は買い物目的の需要があり運行日とする。
- ・曜日によって運行便数が違いわかりにくいので、わかりやすくする。

※デマンド方式なので、運行1回あたりの利用者数は多いが、利用者総数は十分ではない。

(4) 鶉～宮ノ下～大安寺地域コミュニティバスの運行計画の変更について (実施予定日10月1日)

●運行ダイヤの変更

小学校及びPTAからの変更要望に対し、小学生が登校時に利用できるようにダイヤを修正。

第1便を鮎川線に接続できるようにダイヤを修正。

●路線の新設（不定期運行）

公民館での催しに多くの人に参加できるように「南北コース」を「南コース」と「北コース」に分けて延伸する。

参加委員からの意見

- ・運行継続基準に収支率があるが、現段階での収支率は分るか？
⇒1年間の状況で計算する。現在は初期投資もあり収支率は悪い。
- ・試行運行の終盤に収支率を計算し、これが悪いから改善しないと継続できない、ということになると地域で頑張りようがない。早めに地域に示して、改善策を協議する時間は欲しい。
- ・地域ごとに事情や環境は違うが、地域交流をすることにより良い運行の手助けになることもある。機会があれば地域ごとの交流会も必要だ。
- ・鯖江のつつじバスでは乗継の割引などを行っている。バスや電車毎の連携が必要である。福井市でもバスとバス、バスと電車による乗継の割引を検ほしいものだ討してはどうか。
- ・利用する老人の場合、デマンド方式で電話をかけるのは本人か、家族か？
⇒ほとんど本人が直接予約の電話をしている。
- ・デマンドの方式が便利に利用できる環境になればそれは素晴らしいことだ。
- ・採算の問題もあろうが、コミバスは残して欲しい。

以 上

日本モビリティ・マネジメント会議 in 八戸

報告：松原光也

7月15日、16日に八戸で行なわれた第6回日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）に参加してきました。当初は仙台で開催される予定でしたが、東日本大震災の影響で開催が困難となり、八戸のかたたちの復興への強い思いとご尽力によって急遽開催が実現しました。

15日は午前中に現地企画として八戸のバス交通の改革について説明のあと、青森県の公共交通に関する被災状況と復旧過程の説明がありました。八戸のバス改革（表紙写真）は福井でも参考となる事例ですので、紹介しておきたいと思います。八戸ではバス交通の改革とともに、バスマップを作成し、モビリティ・マネジメントを実施してきました。バス改革の目玉は八戸駅と中心市街地を結ぶ路線を市営バスと南部バスで時間調整のうえ、きっちり10分毎の運行にしたことです。八戸ではもともとバス停の標柱が市営バスと南部バスで共通に使用されており、共通回数券も販売されているので、利用者にとってはバス会社の違いは気にならなくなりました。新幹線が停車する八戸駅は市街地の西のはずれにあり、そこから分岐するJR八戸線の本八戸駅が市街地への最寄駅となりますが、それでも徒歩10分強かかります。そのうえ、八戸線は本数が少ないため、中心部へはバスで行くほうが早くて便利になりました。

それでも、バスはわかりにくいという問題がつきもので、これまでは中心市街地の道路が狭く、一方通行であったため中心部のバス停は行きと帰りとで違う停留所から乗車しなければならず、路線によっては停車するバス停も異なるため、バスの利用は敬遠されがちでした。そこで、中心部にある5つのバス停を八戸中心街ターミナル（記号C）と称して、一つのバスターミナルのように取り扱うことにしたそうです。すなわち、三日町バス停を1番のりば、八日町バス停を2番のりば、中央通りバス停を3番のりば、朔日町バス停を4番のりば、六日町バス停を5番のりばとしました（写真1）。これによって、中心部に行くにはとにかくターミナルが表示されているバスに乗ればよいようになりました。また、ターミナルから放射状に13ブロックに路線を整理して、方向を示す記号を付加してわかりやすく表示し、バスの方向幕、バス停、バスマップ全てでわかりやすく表示されています。

さらに、バスターミナルの5つのりばの真ん中付近に、元喫茶店を改装したモビリティセンター（写真2）が設置されました。バスの案内に加え、回数券・一日乗車券の販売、観光案内もしてくれます。モビリティセンターだけでなく、公共交通や百貨店のカウンターにも最寄バス停の時刻表が掲示され、ポケット時刻表なども取っていただけるように用意されていました。大規模な施設改修は行なわれていなくても、ソフト面で利便性を向上させたよい手本といえます。

本題のJCOMMの話に戻りますが、午後からは市長の挨拶に続き、「美人すぎる議員」で有名になった藤川議員が八戸の案内と震災後の八戸市の対応について説明されました（写真3）。市のPRを兼ねた観光大使のような側面について地元の役に立てるのか、また、自身のブログも市民より県外からのアクセスが多く悩んだ時期もあったそうです。それでも震災時には日々の被災状況と対策などの情報を発信し続けたところ、逆に全国各地からブログを見た人が知り合いの八戸在住の人に情報が伝えられたそうで、市民からも役に立ったと反響があり印象深かったと話しておられました。

JCOMMの発表では、私が所属する京都大学低炭素都市圏政策ユニットが社会実験で運行している「京都市南側なんぐら」に関するポスター発表を行ないました。京都市南部のベンチャー企業の事業者や工場が立地する地区と京都駅とを直行するバスで、交通が不便なため地区の発展が妨げられていました。これを解消するため、先に公共交通を便利にすることにより、通勤の足を確保し、企業の誘致や地区の発展につ

なげられることを実証するための社会実験です。これまでのバスの常識をくつがえし、快適で遅れないバスとして利用者も増え続けています。

最後にJCOMM賞の発表ですが、うれしいニュースがありました。かつてROBAも「のりのりマップ」でJCOMMデザイン賞を受賞しましたが、今回は大西会員が事業にたずさわった「金沢市内小学生を対象とした金沢版交通環境学習の積極的取り組み」がJCOMMプロジェクト賞を受賞しました（写真4）。金沢市内のすべての小学校で教育MMとして公共交通や自転車に関する社会学習を実施したものです。小さい頃から公共交通に親しめる環境が整っていくことを期待しております。大西会員、おめでとうございます！



写真1 ターミナルの5番のりば

普通のバス停をまとめてターミナルと称しわかりやすくしている。売店もあり？



写真2 モビリティセンター

元喫茶店を改修し、交通と観光の案内所として、回数券等も販売。子供の遊び場もある。



写真3 モビリティ・マネジメント会議

トークセッションで被災時の体験を語る藤川議員

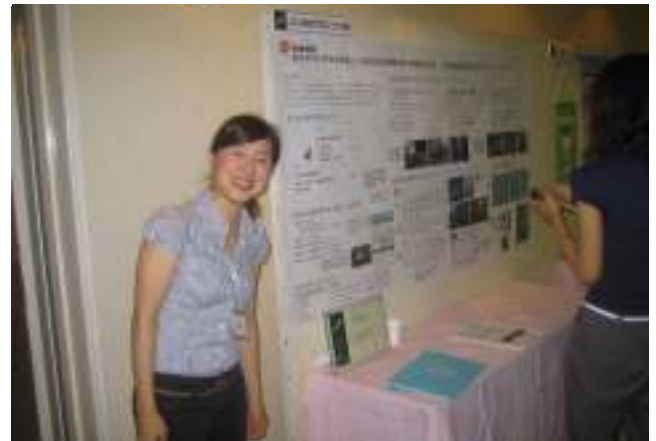


写真4 ポスターセッション

大西会員がコンサルタントとしてJCOMMプロジェクト賞を受賞

親(飼い主)バカ?!



作/漆寄 耕次



寝ながら最高!

▲茶色い方、座って食べなよ!でも、寝たままごはんを食べる猫もいいもですなあ。(´▽´)



うまい うまい!

▲黒い方、トマト盗んだな! 実は黒い方野菜や果物が好物でして…(´・ω´)

ど〜も、真夏の灼熱の太陽のもと出歩く気分でもなく、かと言ってゆっくりした休みがあるわけでもなく、自分の気分転換も兼ねて畑家のお猫様の特集でも…♪

畑家にやってきた猫たち、ようやく1歳半になりました。(まだヒヨッコデス)

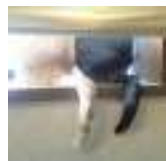
★黒い方(ソラちゃん♀)は、おデブというほどではありませんが、それでも体重は6キロ。ちよっぴり・ぽっこりお腹以外は特に異常なし! よし!♪

★茶色い方(カイちゃん♂)は筋肉質の7.5キロ。ぽっこりお腹は黒い方と同じですが、なんせオスなので?異常に筋肉質! のくせデリケートな性格でして、ちょっとしたストレスで ナイスゲリピー☆ になります。

★この猫たち、5匹きょうだいの2匹をもらいました。黒白の猫が欲しかったので黒い方(ソラ)は飼う事が決まっていたけど、ゲージの中で茶色い方はひとときわ乱暴者だったので、「こりゃ残っちゃうな」と思い2匹一緒にもらいました。

ところが茶色い方、乱暴どころかチョーがつくほどデリケートなことは、先ほどお話ししましたが、黒い方(時には私)の姿が見えないと、ど〜も不安らしく、鳴いてさがしています。⇒かわいいのお

★ところで、この猫たち…ほとんど一緒にギューとくっついて寝るんです。(；´д`A兄弟だから・・・? いやいや何なんだ? 今までのご先祖猫様でも こんなのないかったゾ! にしても、茶色い方は寝ている間、ずーっと笑ってます



▲いや〜凄いですねえ シッポの形まで同じなんて(^m^||)あれ、この猫たちって・・・立ち位置きまってるのか?

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「アメリカ経済の弱体化。これにはまいった!これから先、何が起こるか…地震の次は?」

林(変集長)

「今年は久しぶりに、はさかけで米(イクヒカリ)を乾燥させます。わらは三国の酪農家にわたす予定。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>